3Dモデルガイド

dynabook

安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書（本書）をお読みください。
本書には、NVIDIA（エヌビディア）の3D Vision（スリーディー ビジョン）をパソコンで使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。
本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。
お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

パソコンを安全に正しく使うために重要な事項は、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。あわせてお読みください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

❏ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

❏ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	●は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	△は、注意を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

❏免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

安全上のご注意

⚠警 告

3D グラスの取り扱い

3D グラスのノーズピースは、乳幼児の手の届くところに置かない

吸い込んだり、飲み込んだりすると、窒息や胃壁障害などのおそれがあります。
万が一、飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

3D グラスを修理・分解・改造・焼却しない

火災のおそれがあります。電気製品の内部に触れると感電のおそれがあります。また、3D 映像視聴時の異常による体調不良の原因になります。
点検・修理は、東芝PC あんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。

雷雨のときに本製品をインストールしたり、メンテナンスしたり、構成変更したりしない

落雷による感電のおそれがあります。

本製品の開口部に異物を入れない

火災や感電の原因となります。

3D グラスを落としたり、曲げたり、押しつぶしたりしない

3D グラスには、レンズやバッテリーなど、壊れやすい部品が使われています。
レンズ部分などが破損して、けがの原因となることがあります。

てんかんについて

本人あるいは家族にてんかんの病歴がある場合、医療機関にご相談の上、3D映像を見る

一部の人は、強い光が点滅するテレビ番組やビデオゲームなどで、てんかんのような発作を起こすことがあります。
次に該当する人は、医療機関にご相談の上、3D映像を見てください。

・医療機関に相談が必要と、保護者が判断したお子様
・てんかんの病歴を持っている人、てんかんの病歴を持つ家族がいる人
・強い光が点滅する画面効果によって、てんかんのような発作を起こした、あるいは感覚に異常をきたした経験がある人

指示

3D映像を見ているとき、次の症状に気づいたら3D映像の視聴を中止する

てんかんの病歴がない人でも、強い光の点滅で発作を起こす可能性があります。

・動かしているつもりがないのに体が動く、目や筋肉がぴくぴくする
・筋肉がつる
・吐き気、めまい、むかつき
・けいれん、引きつけ
・周囲の見えかた、感じかたがおかしくなる、不明瞭になる、わからなくなる

指示

このような症状に気づいた場合は、その症状が完全になくなるまで、危険を招くおそれのある行為（自動車の運転など）をしないでください。
3D映像の視聴を再開する前に、医療機関にご相談ください。

⚠注 意

3Dグラスの取り扱い

3Dグラスに破損・異常・故障があるときは使用しない

そのまま使い続けると、けが、目の疲れ、体調不良などの原因となることがあります。
割れたり、ヒビがはいったりしているような状態で使用しないでください。

3Dグラスを落としたり、踏んだり、力を加えたり、上に物を落としたりしない

破損してけがの原因となることがあります。3Dグラスは、市販のメガネケースなどに入れて保管してください。

3Dグラスの近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器を置かない

液体が機器の内部に入ると火災・感電の原因となります。
液体が内部に入った場合は、すぐに電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
点検・修理を、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。

ふろ場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない

火災・感電の原因となります。

3Dグラスのバッテリー部分を長時間触らない

長時間触れていると、低温やけどの原因となる場合があります。
3Dグラスのバッテリー部分は、充電中、温かくなることがあります。

3Dグラスを装着するとき

3D映像を視聴していないときは、3Dグラスをはずす

3D映像視聴以外の用途に使用すると、けがや疲れ目の原因となることがあります。
3Dグラスを装着すると周囲が暗く見えて、装着したまま歩くと転倒などによるけがの原因となることがあります。

指示

鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたりしたら使用を中止する

長時間装着していると、圧力などによってこのような症状を感じる場合があり、体調不良の原因となることがあります。

指示

肌に異常を感じたら3Dグラスの使用を中止する

体質によっては、ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因となることがあります。

指示

3Dグラスのヒンジ部に指をはさまないように注意する

けがの原因となることがあります。
特にお子様はご注意ください。

指示

3Dグラス装着の際は、フレームの先端に注意する

目を突いてけがの原因となることがあります。

指示

3D映像を見るとき

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は3D映像を見ない

症状悪化の原因となることがあります。

禁止

お子様が3D映像を見るときは、保護者が十分配慮する

お子様が3D映像を見ると、視機能の発達に障害を与える原因となることがあります。
保護者の方の管理のもとに、お子様の様子に注意を払い、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。

指示

3D映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる

頭痛、目の痛み、視界のぼけ、数秒以上にわたって物が二重に見えるなどの症状が消えない場合も、3D映像を見るのをやめてください。
そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。

長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる

長時間の視聴は目の疲れや視力低下の原因となることがあります。
3D映画などの場合は1作品の視聴を目安に休憩をとってください。
3Dゲームなどの場合は、1時間に1回を目安に、適度に休憩をとってください。

周囲の人や物に注意する

3D映像視聴中に距離感を誤って手を伸ばしたり、3D映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。
周囲に壊れやすいものを置かないようにして、不用意な動作をしないでください。

3D映像を見るときは、3Dグラスを装着する

3Dグラスを装着しないで3D映像を見ると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。
指定の3Dグラスを装着してください。

3Dグラスを傾けて装着したり、横たわって視聴したりしない

正常な3D映像が見られなくなるため、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。3Dグラスをかけた両目（を結ぶ線）がなるべく水平になる状態でご覧ください。

近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどの装着で視力を矯正したうえで3Dグラスを装着する

視力を矯正しないで3D映像を見ると、正常な3D映像にならないことがあり、目の疲れや、視覚異常の原因となることがあります。

3D映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら、見るのをやめる

そのまま見続けると目の疲れや視力低下の原因となることがあります。

ディスプレイから60～75cm以上離れて3D映像を見る

これ以上近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。

もくじ

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』 パソコンで見るマニュアルなどへの参照の場合…《　》 《パソコンで見るマニュアル（検索）：XXXX》と書いている場合、《パソコンで見るマニュアル》の［検索］ボタンの左側に「XXXX」を入力すると、目的のページを検索できます。 パソコンで見るマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

3Dモデル

ご購入いただいたパソコン（3D Visionに対応しているパソコン）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

パソコンで見るマニュアル

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアル「パソコンで見るマニュアル」を示します。
デスクトップ上の［パソコンで見るマニュアル］アイコン（　）をダブルクリックして起動します。

3 記載について

- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

4 Trademarks

- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForce、3D Visionは、米国またはその他の国のNVIDIA Corporationの商標または登録済み商標です。
- Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）、Blu-ray（ブルーレイ）およびBlu-ray 3D（ブルーレイ3D）はBlu-ray Disc Associationの商標です。
- Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

6 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品に内蔵されている画像は、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

7 ［ユーザーアカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

1 章

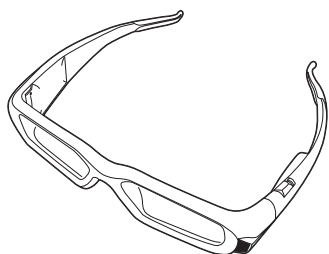
3D映像を見る

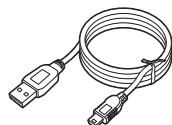
ご購入いただいたパソコンは、NVIDIA（エヌビディア）の3D Visionを使用して、ブルーレイ3Dタイトルや3Dゲームを楽しむことができます。
この章では、3D Visionのセットアップ方法、3D映像を見るための操作、ご使用上のお願い事項などについて説明しています。
パソコンに用意されているマニュアルもあわせてお読みください。

1　3D Visionの付属品の確認

3D映像を見るためには、3D Visionセットを使用します。
3D Visionセットの付属品は次のとおりです。ご確認ください。

■3Dグラス

IRエミッターから同期信号を受信して、3D映像を見ることができます。

■USBケーブル×１本

3Dグラス充電用に付属しています。

■ノーズピース（サイズが異なるもの）×２個

3Dグラスの装着感がよくないときに交換するためのものです。

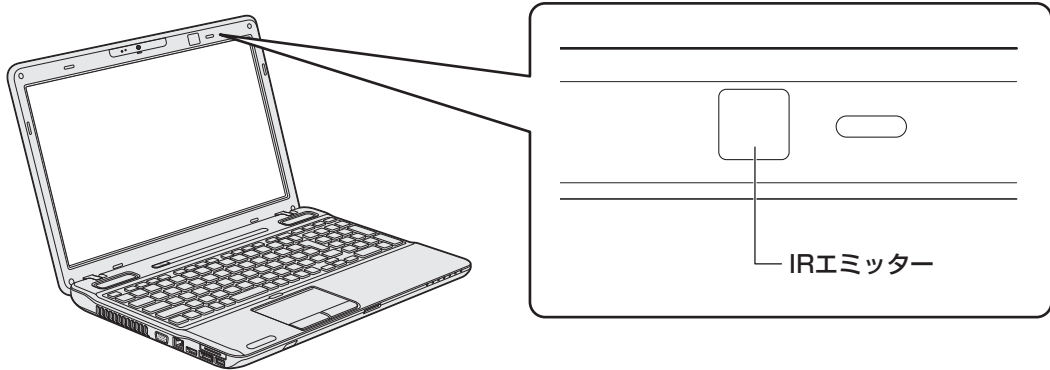
■小冊子（英語）

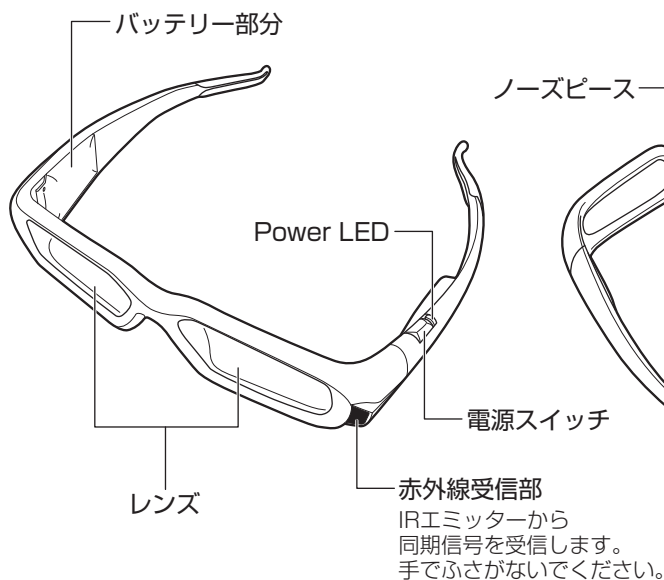
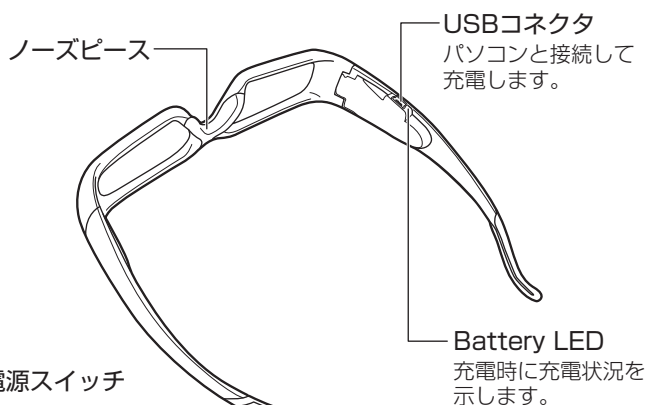
3D Vision付属のマニュアルです。

2 3D Visionの各部の名称

IRエミッターと3Dグラスの各部の名称と機能について説明します。

1 IRエミッター

3D映像を見るための同期信号を3Dグラスに赤外線で送信します。

2 3Dグラス

IRエミッターから同期信号を受信中の3Dグラスをかけると、3D映像を見ることができます。視力矯正メガネの上からもかけることができます。

⚠注 意

- **3Dグラスを一般的な用途に使用しない**
  3Dグラスは、視力矯正メガネやサングラス、保護メガネではありません。
  3Dグラスを一般的な用途（運転、読書、太陽光線や紫外線から目を保護するなど）に使用しないでください。けがのおそれがあります。
- **本製品の3Dグラスは、本製品以外には使用しない**
  3Dグラスは本製品専用です。
  また、他製品の3D対応メガネを、本製品で使用しないでください。

3 3Dグラスの充電と調整

3Dグラスは充電することにより、ケーブルを接続せずにワイヤレスで使用できます。3Dグラスは充電量に応じて定期的に充電してください。
3D Visionのセットアップを行う前にも充電しておく必要があります。

⚠警告

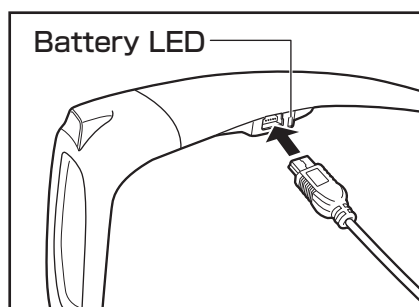
- 3Dグラスのバッテリー部分を分解しない
  3Dグラスに使用されているリチウムイオンバッテリーは特注品です。
  バッテリー部分を分解したり、バッテリーを交換したり、ショートさせたりしないでください。
  これを守らないと、破裂・液もれなどによって、やけど・けがの原因となることがあります。
  バッテリーの消耗が早くなったなど、問題があると感じた場合は、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスにご連絡ください。

お願い 3Dグラスの取り扱いについて

- あらかじめ、「12 - 1 機器の取り扱いについて」と「12 - 2 3Dグラスのお手入れ・充電について」を確認してください。

1 3Dグラスを充電する

3Dグラスの充電は、パソコンのUSBコネクタに接続して行います。
充電は、3Dグラスの電源のON／OFFに関係なく行えます。

1 付属のUSBケーブルのミニ端子側を、3DグラスのUSBコネクタに差し込む

2 パソコン本体の電源を入れて、USBケーブルのもう一方のプラグをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む

充電が開始します。
約3時間でフル充電となります(フル充電時、ワイヤレスで使用可能な時間は約40時間です)。

Battery LEDの色	状態
消灯	充電していない（USBケーブルが接続されていない、パソコンがスリープ中、など）
赤色点滅	充電中
赤色点灯	充電完了（フル充電）

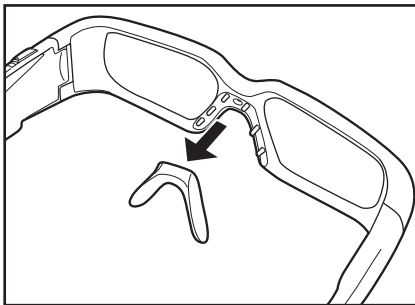
メモ

- パソコンがスリープ中／休止状態では、充電できません。
  充電を行う場合は、システムを起動した状態にするか、常時給電機能を有効にして、電源を切った状態にしてください。

  参照 パソコンのUSBコネクタの常時給電機能について
  《パソコンで見るマニュアル（検索）：USBの常時給電》
- 3Dグラスは充電中でも、電源を入れて3D映像を見ることはできます。

2 ノーズピースを交換する

ノーズピースは、3Dグラスにあらかじめ取り付けられているものとは別に、サイズが異なるものが2つ用意されています。
3Dグラスの装着感が悪い場合は、ノーズピースを交換してください。

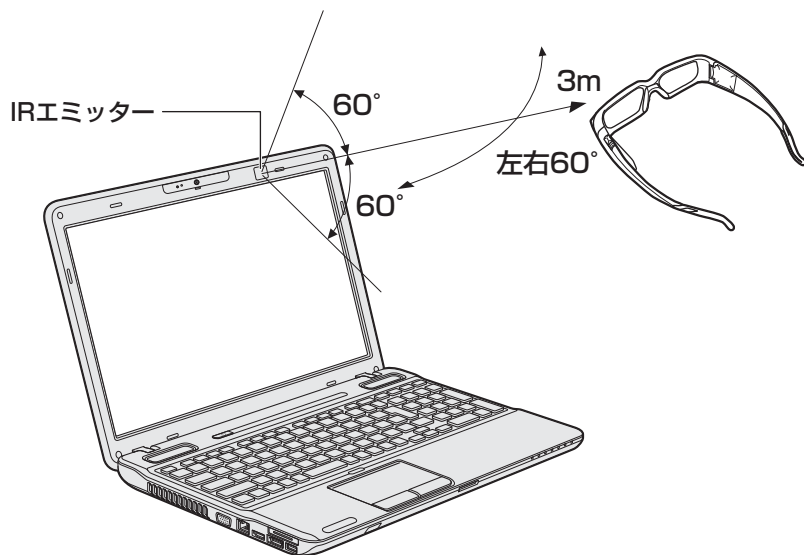
1 ノーズピースを取りはずす

2 別のサイズのノーズピースを取り付ける

3Dグラス側の凸部に合わせて、ノーズピースをしっかりとはめこんでください。

3 3Dグラスの使用範囲

使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

- 距離：IRエミッターより約3m以内
- 角度：IRエミッターより上下左右それぞれ約60度以内

お願い

- 使用範囲内でも、次のような場合は3Dグラスが誤動作したり操作できない場合があります。
  - ・パソコン本体と3Dグラスの間に障害物があるとき
  - ・3Dグラスに直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
  - ・IRエミッターの発光部、3Dグラスの受信部が汚れているとき
  - ・パソコンと3Dグラスが複数台あるとき
  - ・電池が消耗したとき

4 3D Visionのセットアップ

セットアップは、3D Visionを使用するために必要な初期設定を行うものです。
次の場合に行ってください。

- 初めて3D Visionを使うとき
- パソコン本体をリカバリーしたとき
- リフレッシュ レートを変更したいとき

■3D Visionのセットアップを行う前に

次のことを確認してください。

- 3Dグラスが充電されていること

参照 充電方法について「3-1 3Dグラスを充電する」

- インターネットへの接続

参照《パソコンで見るマニュアル（検索）：インターネット》

1 セットアップ

1 デスクトップ上で右クリックし、表示されたメニューから［NVIDIAコントロールパネル］をクリックする

［NVIDIAコントロールパネル］画面が表示されます。

2 画面左側の［ステレオスコピック 3D］から［ステレオスコピック 3Dを設定します］をクリックする

［ステレオスコピック 3Dの設定］画面に切り替わります。

3 ［セットアップ ウィザードの実行］をクリックする

すでにセットアップを行っている場合は、［ステレオスコピック 3Dのテスト］の右横の▼をクリックし、［セットアップ ウィザードの実行］をクリックしてください。
3D Visionのセットアップ画面が表示されます。

次はセットアップで必要なものを確認します

セットアップ画面で「赤外線エミッタ」と呼んでいるものは、本製品に内蔵されているIRエミッターのことです。
「3D Vision グラス」は、3Dグラスのことです。3Dグラスを手元に用意してください。
ドライバーは本製品にプレインストールされています。

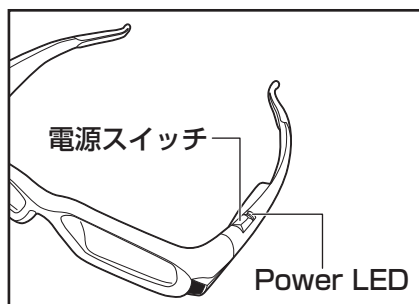
4 ［次へ］ボタンをクリックする

次は3Dグラスをテストします

3DグラスとIRエミッター間で赤外線通信を行い、3DグラスとIRエミッターが正しく動作することを確認します。

5 3Dグラスの電源スイッチを押す

Power LEDが黄緑色に点灯することを確認します（LEDは約30秒後に消灯します）。レンズの暗さは増します（レンズが多少ちらついて見える場合があります）。

参照 Power LEDが点灯しない場合などについて「5 - 1 3Dグラスの電源を入れる」

6 ［次へ］ボタンをクリックする

次はハードウェア設定をテストします

本製品のハードウェア環境で3D映像が見られるかを確認します。

7 3Dグラスをかけて、左目／右目で見えるイメージをそれぞれクリックする

片目ずつ目をつぶって、左目で見えるイメージと右目で見えるイメージを選択してください。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

正しいイメージが選択できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
［戻る］ボタンをクリックし、次のことを確認して、再度手順 7 を行ってください。

- 3Dグラスの電源が入っていること
- IRエミッターと3Dグラス間の赤外線通信が正常に行われていること（3Dグラスのレンズは暗さを増している状態）
- IRエミッターと3Dグラスが近すぎないこと（目安として50cm程度離してください）

次はちらつきの有無を確認します

3Dグラスをかけたまま、周辺視野にちらつきがあるかどうかを確認します。

9 3Dグラスをかけて、ちらつきを感じる場合は［はい］をチェックする

ちらつきを感じない場合は［いいえ］をチェックしてください（手順 12 に進んでください）。

10 ちらつきを感じる場合は、リフレッシュ レートを変更する

デフォルトでは「120Hz」が選択されています。
リフレッシュ レートを変更する目安は次のとおりです。

- 120Hz ：夜間、室内の照明を付けている状態で、西日本（60Hz地域）で使用
- 110Hz ：日中、室内の照明を消している状態で使用
- 100Hz ：夜間、室内の照明を付けている状態で、東日本（50Hz地域）で使用
- インゲーム リフレッシュ レートを使用する
  ：ゲームで設定したリフレッシュ レートを優先させる（ゲームによっては3D映像に必要なリフレッシュ レートを設定できない場合もあるので、このモードはおすすめしません）

11 ［このリフレッシュ レートでテストする］ボタンをクリックする

ちらつきを感じなくなった場合（多少ちらつきが残る場合もあります）は、手順 12 に進んでください。
別のリフレッシュ レートでもテストしたい場合は、手順 10 に戻ってください。

12 ［次へ］ボタンをクリックする

次は視覚テストを行います

13 3Dグラスをかけた状態で、見えるイメージをクリックする

ここで3D表示（立体的）に見えない場合は、［戻る］ボタンをクリックして手順 7 まで戻り、手順 7 からもう１度やり直してください。それでも3D表示に見えない場合は、［終了］ボタンをクリックしてセットアップを中止してください。

⚠注 意

- **視覚テストに失敗した場合は医療機関に相談する**
  この視覚テストを何度行っても3D表示に見えず、テストが失敗に終わる場合は、個人の視力や体質が原因の可能性があります。「安心してお使いいただくために」をお読みになり、眼科医などの医療機関にご相談ください。

14 ［健康と安全に関する情報を読み、理解しました。］をクリックする

「Internet Explorer」が表示されます。
内容を確認してください。

15 セットアップの画面に戻り、［健康と安全に関する情報を読み、理解しました。］をチェックする

16 ［次へ］ボタンをクリックする

17 この後すぐに3Dのテスト映像を見たいときは［ウィザードが完了したら、3Dゲーム画像のスライドショーを開始します。］がチェックされていることを確認して（デフォルトでチェックされています）、［完了］ボタンをクリックする

これでセットアップは終了です。

メモ

- テスト映像は、セットアップ後、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［NVIDIA Corporation］→［3D Vision］→［3D Vision プレビュー パック 1］をクリックしても見ることができます。
- テスト映像を終了するときは ESC キーを押してください。

5 3D映像を見るための準備

3D映像を見るためには、IRエミッターと3Dグラス間で、同期信号を赤外線通信する必要があります。

お願い IRエミッターと3Dグラス間で赤外線通信を行うにあたって

- あらかじめ、「12 - 1 機器の取り扱いについて」と「12 - 3 赤外線通信について」を確認してください。

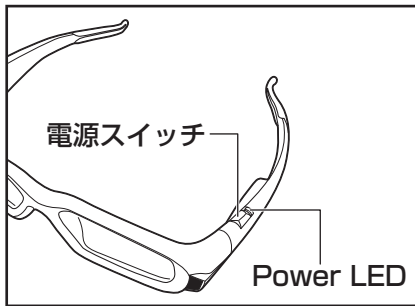
⚠警告

- 赤外線装置に関する安全性
  クラス 1LED 製品
  IRエミッターは赤外線LEDを用いてコントローラから3Dグラスに信号を送信します。この赤外線LEDから照射される不可視光線はEN60825-1（IEC60825-1）に準拠しており、危険性のあるものだとは考えられませんが、IRエミッターが動作中は、念のため次の点にご注意ください。
  ・IRエミッターをのぞき込まないこと
  ・光学機器を使用して赤外線を直接見ないこと

お願い 3D映像を視聴するにあたって

- 本体液晶ディスプレイと3D映像に対応しているテレビや外部ディスプレイで、3D映像を表示できます。それ以外のテレビや外部ディスプレイでの3D映像の表示には対応していません。
  参照 「10 3D対応テレビで視聴する」
- その他の注意事項については、あらかじめ、「12 - 4 3D映像の視聴について」と「12 - 5 3D映像の再生について」を確認してください。

1 3Dグラスの電源を入れる

1 3Dグラスの電源スイッチを押す

Power LEDは、次の状態を示しています。LEDは電源スイッチを押して約30秒後に自動的に消灯します。

Power LEDの色	状態
電源スイッチを押しても消灯したまま	充電切れ 参照 充電のしかた「3 - 1 3Dグラスを充電する」
赤色点滅	ワイヤレスで使用可能な時間（目安）：約2時間未満
黄緑色点灯	ワイヤレスで使用可能な時間（目安）：約2〜40時間

メモ

- しばらくIRエミッターからの信号を受信していないと、3Dグラスの電源は自動的に切れます。再度、電源スイッチを押してください。

3D映像を見終わったら

3Dグラスは、3D映像の再生を終了して赤外線通信が途切れると、約10分後に電源が自動的に切れます。

2 赤外線通信中の状態について

アプリケーションで3D映像を再生すると、IRエミッターと3Dグラス間で同期信号の赤外線通信が始まります。
この状態で3Dグラスをかけて3D映像を見ると、3D表示に見えます。

■赤外線通信中の状態

- 3Dグラス...............レンズの暗さが増している状態（多少ちらついて見える場合があります）

メモ　3D映像が見えるしくみについて

- ディスプレイ上では、左目で見る映像と右目で見る映像が交互に表示されています。そのタイミングに合わせて、3Dグラスは左右のレンズのシャッターを交互に開閉しています。これにより、右目には右目用の映像のみ、左目には左目用の映像のみが見え、3D表示に見えるようになっています。

3 NVIDIAコントロールパネルについて

NVIDIAコントロールパネルを使用すると、3D映像の設定や調整を行うことができます。
NVIDIAコントロールパネルの詳細は、ヘルプを参照してください。

1 NVIDIAコントロールパネルの起動

1 デスクトップ上で右クリックし、表示されたメニューから［NVIDIAコントロールパネル］をクリックする

［NVIDIAコントロールパネル］画面が表示されます。

2 ヘルプの起動

1 ［NVIDIAコントロールパネル］画面のメニューバーから［ヘルプ］→［NVIDIAコントロールパネルのヘルプ］をクリックする

6 ブルーレイ3Dを見る

本製品には、ブルーレイ3Dを再生するためのアプリケーション「WinDVD(ウィンディーヴィーディ) BD(ビーディー) for(フォー) TOSHIBA(トウシバ)」（以降、WinDVD BD）が用意されています。
WinDVD BDで3D映像を再生できるのは、ブルーレイ3Dディスクです。

メモ

- 通常のブルーレイディスクやDVDなどの2D映像を3Dに変換して見ることはできません。

1 WinDVD BDの設定

WinDVD BDでブルーレイ3Dを見るために、次の設定を行ってください。この設定は、3D Visionセットアップ後、初回起動時のみ行う必要があります。

1 [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [Corel] → [Corel WinDVD BD] をクリックする

WinDVD BDが起動します。

2 表示エリア上で右クリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3 [3D設定] タブをクリックして、次の設定を行う

本体液晶ディスプレイでブルーレイ3Dを再生する場合

- モニタータイプ
  [NVIDIA 3D Vision 付きコンピュータモニター] を選択してください。
- モニターサイズ
  「15」を入力してください。

3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイでブルーレイ3Dを再生する場合

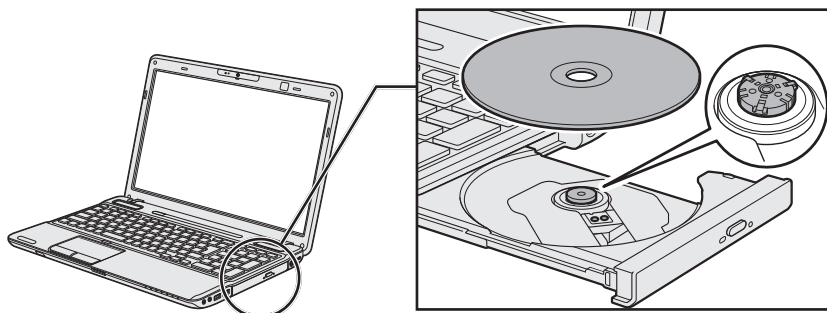
- モニタータイプ
  [HDMI 1.4 ビデオ出力] を選択してください。
- モニターサイズ
  使用しているテレビや外部ディスプレイのモニターサイズを入力してください。

メモ

- WinDVD BDで通常のブルーレイディスク（2D映像）を見るときは、この設定のままでかまいません。
- WinDVD BDを使用して、テレビや外部ディスプレイで3D映像を視聴する場合は、HDCP対応のHDMI入力端子のある、3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイが必要です。
  また、テレビや外部ディスプレイで3D映像を視聴するときは、接続している表示装置のみ表示させてください。
  参照 「10 3D対応テレビで視聴する」
- 3D映像に対応していないテレビや外部ディスプレイに映像を再生する場合は、WinDVD BD の［設定］画面の［3D設定］タブで「常に2Dモードでブルーレイ3Dを再生する」を選択してください。
  この場合、ブルーレイ3D、通常のブルーレイディスクは、2Dで再生されます。
  また、テレビや外部ディスプレイで2D映像を見るときは、3D Visionを無効に設定してください。
  参照 「7 - 2 3D Visionを無効に切り替えるとき」

2 ブルーレイ3Dを見る

ブルーレイ3Dを見るための手順は次のとおりです。

1 ブルーレイ3Dディスクをドライブにセットする

WinDVD BDが起動します。
自動起動しない場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Corel］→［Corel WinDVD BD］をクリックしてください。

2 WinDVD BDを操作して、ブルーレイ3Dを再生する

3Dグラスをかけて、3D映像をお楽しみください。

参照 WinDVD BDの詳細やヘルプの起動方法について
《パソコンで見るマニュアル（検索）：WinDVD BDで見る》

メモ

- ブルーレイ3Dの再生中は、WinDVD BDの画面をフルスクリーンモード（全画面表示）のままにしてください。フルスクリーンモードとは、タイトルバーやボタンがなく、ディスプレイ全体に映像のみが表示されている状態のことです。ウィンドウモード（タイトルバーやボタンなどがある状態）に変更すると、映像再生が停止します。
  また、ブルーレイ3Dの再生中は、右クリックメニュー、セットアップ、およびヘルプに関する操作などが一時的に無効になります。

7 3Dゲームで遊ぶ

本製品では3Dゲームを3D映像で楽しむこともできます。
3Dゲームについては、NVIDIAのホームページでご確認ください。

http://www.nvidia.co.jp/object/3D_Vision_3D_Games_jp.html

1 奥行き距離の調整について

3Dゲームには、3D映像の奥行き感（奥行き距離）を調整できるものがあります。
奥行き距離は、CTRL＋F3キーとCTRL＋F4キー、またはNVIDIAコントロールパネルで調整します（この2つの調整値は連動しています）。
CTRL＋F3キーは奥行き距離を減らし、CTRL＋F4キーは奥行き距離を増やします。

お願い

- 3D映像に慣れるまでは、奥行き距離は既定値（15%）のままのご使用をおすすめします。3D映像に慣れたら、少しずつ奥行きの設定を大きくしてもかまいません。

メモ

- ブルーレイ3Dの奥行き距離は調整できません。

2 3D Visionを無効に切り替えるとき

次の場合は、3D Visionを無効に切り替える必要があります。

- 3D Visionを使用しないゲームをするとき
  （3D Visionを有効にしていると、パフォーマンスが落ちる場合があります）
- テレビや外部ディスプレイに映像を表示させてゲームをするとき

3D Visionを無効に切り替える手順は次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［NVIDIA Corporation］→［3D Vision］→［3D Visionを無効にする］をクリックする

3D Visionに対応したゲームやブルーレイ3Dを楽しむときは、3D Visionを有効に設定し直してください。
有効にする手順は、上記手順と同じで、最後に［3D Visionを有効にする］をクリックしてください。

8 DVDやビデオファイルを3Dで見る

本製品では、DVD再生アプリケーションとして、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D（トウシバ ビデオ プレーヤー スリーディー）」が搭載されています。
電子マニュアルでは、3Dモデルではないパソコンを前提にしています。
3DモデルでDVDを再生する方法は、本節をお読みください。

Windows上でDVDを再生するには、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」を使います。

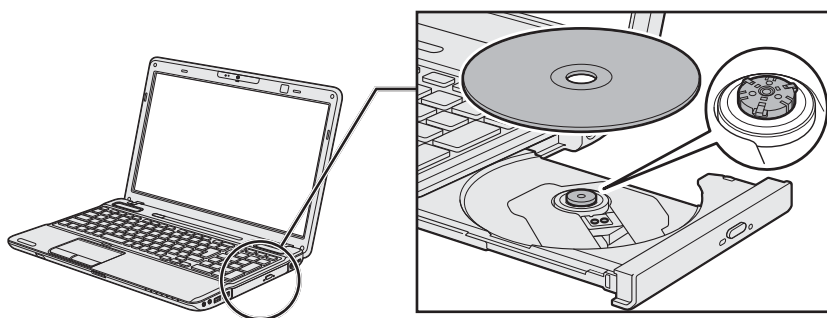
3D再生用として作られた映像を3D映像として見ることができます。
DVDや家庭で撮影された映像などの2D映像を3Dに変換（2Dto3D変換）して、再生することができます。

メモ

- DVDを再生する場合、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA VIDEO PLAYER 3Dで見る

ここでは、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」でDVDの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」を使う前に、「12 - 6 DVDの再生にあたって」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」が起動します。詳細は「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のヘルプを参照してください。

メモ

- 「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA VIDEO PLAYER］→［TOSHIBA VIDEO PLAYER］をクリックして起動することもできます。

3Dで再生する

「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」で、3D映像を見る場合は次の設定を行ってください。

1 映像ウィンドウ右上の［設定］ボタン（ ）をクリックする

［設定］画面が表示されます。

2 画面左側の［3D設定］をクリックする

3 3Dを見るための設定を行い、［OK］ボタンをクリックする

詳しくは「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のヘルプを確認してください。

4 コントロールウィンドウの［3D再生］ボタン（ ）をクリックする

映像ウィンドウがフルスクリーン表示になり、3D映像での再生が始まります。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。

1 映像ウィンドウ右上の［ヘルプ］ボタン（ ）をクリックする

「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

9 リモコンについて

本製品には、カード型リモコンが付属しています。
カード型リモコンは、TVチューナー内蔵モデルに付属するリモコンとは異なります。
電子マニュアル「パソコンで見るマニュアル」の「映像と音楽」には、TVチューナー内蔵モデルに付属するリモコンの説明が記載されていますが、その内容とは異なります。
カード型リモコンについては次をお読みください。

1 カード型リモコンについて

リモコンを使って､離れた場所からパソコンの機能の一部を操作することができます。ここでは、リモコンの基本的な使いかたを説明します。

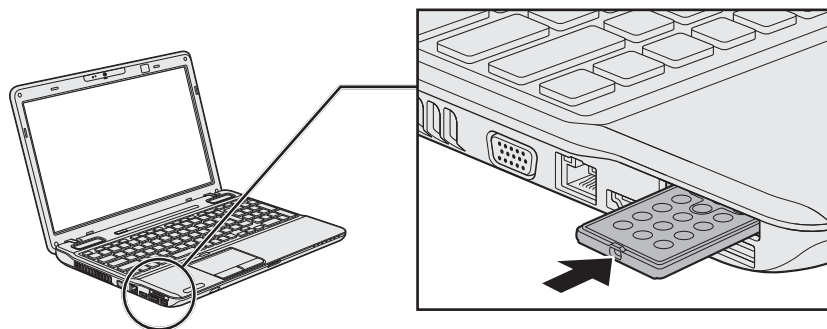
お願い

- リモコンは本製品専用です。
- アプリケーションの中には、リモコン操作に対応していないものもあります。

1 はじめてリモコンを使うときは

リモコンの電池がセットされている部分には、絶縁シートがはさみ込んであります。
絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。

2 リモコンを使わないときは

パソコン本体のExpressCardスロットに収納することができます。

リモコンのボタン面を上にして、図のように差し込んでください。

購入時の状態では、ExpressCardスロットにはダミーカードがセットされています。

参照 ダミーカードの取りはずしかた
《パソコンで見るマニュアル（検索）：ExpressCardの取り付けと取りはずし》

取りはずしたあと、ダミーカードはなくさないように保管してください。

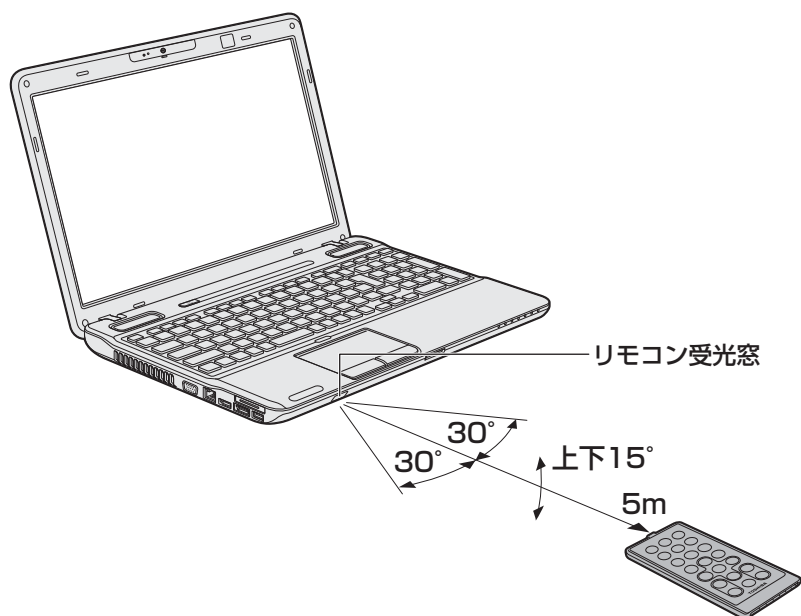
メモ

- 長時間使用しないときは、電池を取りはずしてください。

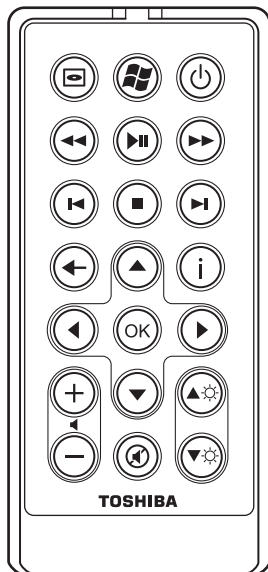
3 リモコンの使用範囲

パソコン本体に向けて、リモコンの操作ボタンを押してください。
使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

- 距離：リモコン受光窓正面より約5m以内
- 角度：リモコン受光窓正面より左右それぞれ約30度以内、上下にそれぞれ約15度以内

お願い

- 使用範囲内でも、次のような場合はリモコンが誤動作したり操作できない場合があります。
  - ・パソコン本体とリモコンの間に障害物があるとき
  - ・リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
  - ・リモコン受光窓、またはリモコンの発光部が汚れているとき
  - ・パソコンとリモコンが複数台あるとき
  - ・電池が消耗したとき

4 各ボタンの機能

リモコンの各ボタンの機能について説明します。
一部のボタンを除き、主に「WinDVD BD」、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」、「Windows Media Player」などの映像/音楽再生アプリケーションで使用できます。
操作したいアプリケーションを最前面に表示してご使用ください。

上図の左上のボタンから説明します。

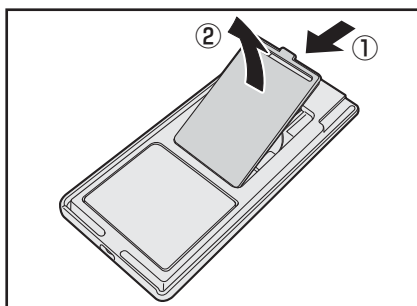
ボタン	ボタン名称	機能
	メニュー	メニューを表示します。
	スタート	「Windows Media Center」を起動します。
	PC電源	ディスプレイ表示中に押す…スリープを実行します＊[1]。 スリープ/休止状態で押す…復帰します。 パソコン本体の電源OFF時に押す…電源が入ります。
	早戻し	映像を早戻しします。
	再生/一時停止	映像の再生/映像再生の一時停止を行います。
	早送り	映像を早送りします。
	ページ（前） スキップ	現在のチャプターの先頭/1つ前のチャプターに移動します。
	停止	映像再生を停止します。
	ページ（次） スキップ	次のチャプターに移動します。

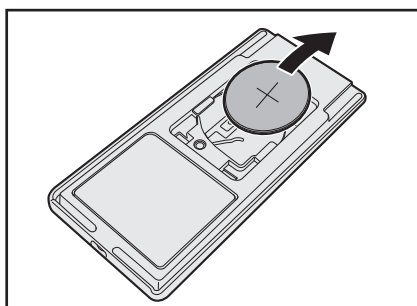
＊1「コントロールパネル」の「電源オプション」の、［電源ボタンの動作を選択する］→［スリープボタンを押したときの動作］に設定されている動作を行います。

ボタン	ボタン名称	機能
←	戻る	前の画面に戻ります。
◀▲▼▶	方向	カーソルを移動します。
i	クイックメニュー	ポップアップメニューを表示します。
OK	OK	項目を決定します。
+	音量＋	音量を上げます。
−	音量−	音量を下げます。
▲☼	輝度＋	本体液晶ディスプレイの輝度を上げます。
▼☼	輝度−	本体液晶ディスプレイの輝度を下げます。
🔇	消音	消音／消音の取り消しを行います。

5 電池の取り付け／取りはずし

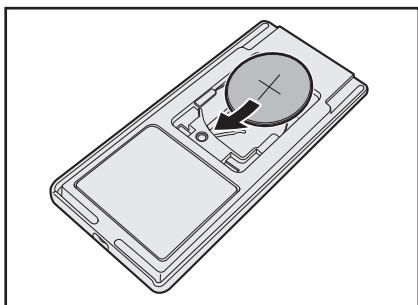
付属のリモコン用電池が消耗した場合は、市販の電池と交換してください。
リモコン用電池が消耗すると、リモコン操作ができなくなったり、到達距離が短くなります。
使用できる電池は、CR2016電池です。その他の電池は使用できません。
＊付属の電池は動作確認用です。

1 リモコン裏面の電池カバーをはずす

2 電池を取りはずす

ツメを折らないように、斜めに引き抜いてください。

3 「+」面を上にして、新しい電池をセットする

ツメの下をくぐらせるように、斜めに差し込んでください。

4 電池カバーをつける

10 3D対応テレビで視聴する

3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイに、本製品の3Dの映像を表示する「NVIDIA® 3DTV Play」があります。
「NVIDIA® 3DTV Play」を使用するためには、次の手順で「NVIDIA® 3DTV Play」のセットアップを行う必要があります。

メモ

- ゲームなどはアプリケーション側で解像度やリフレッシュ レートを変更して動くものがあります。この場合はアプリケーション側で［1920×1080 24Hz］もしくは［1280×720 60Hz］を選択してください。
- すべての3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイで動作検証されておりません。
  一部のテレビや外部ディスプレイでは正常に表示されない、もしくは「NVIDIA® 3DTV Play」の機能が使えないことがあります。
- 「NVIDIA® 3DTV Play」をご利用になる時はかならず､接続している表示装置のみ表示させてください。クローン表示や拡張表示には、設定しないでください。

1 3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイを接続する

参照 《パソコンで見るマニュアル（検索）：HDMI出力端子で接続する／取りはずす》

2 表示装置を、接続したテレビや外部ディスプレイのみに設定する

クローン表示や拡張表示には、設定しないでください。

参照 《パソコンで見るマニュアル（検索）：表示を切り替える》

3 デスクトップ上で右クリックし、表示されたメニューから［NVIDIA コントロールパネル］をクリックする

［NVIDIA コントロールパネル］画面が表示されます。

4 画面左側の［ステレオスコピック 3D］から［ステレオスコピック 3Dを設定します］をクリックする

［ステレオスコピック 3Dの設定］画面が表示されます。

5 ［セットアップ ウィザードの実行］をクリックする

すでにセットアップを行っている場合は、［ステレオスコピック 3Dのテスト］の右横の▼をクリックし、［セットアップ ウィザードの実行］をクリックしてください。
「NVIDIA® 3DTV Play」の設定画面が表示されます。
3D Visionのセットアップ画面が表示された場合は、その表示装置では「NVIDIA® 3DTV Play」をサポートしていませんので［終了］ボタンを押してセットアップを終了してください。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

次はメガネをテストします

3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイのメガネを設定します。
本製品に付属の3Dグラスを使用しないでください。

メガネとテレビや外部ディスプレイ間で赤外線通信を行い、メガネとテレビや外部ディスプレイが正しく動作することを確認します。

7 3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイのメガネの電源を入れる

詳しくは『3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイの取扱説明書』を確認してください。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

次はハードウェア設定をテストします

本製品のハードウェア環境で3D映像が見られるかを確認します。

9 テレビや外部ディスプレイのメガネをかけて、左目／右目で見えるイメージをそれぞれクリックする

片目ずつ目をつぶって、左目で見えるイメージと右目で見えるイメージを選択してください。

10 ［次へ］ボタンをクリックする

正しいイメージが選択できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
［戻る］ボタンをクリックし、次のことを確認して、再度手順 9 を行ってください。

- テレビや外部ディスプレイのメガネの電源が入っていること
- テレビや外部ディスプレイとメガネ間の赤外線通信が正常に行われていること
（テレビや外部ディスプレイのメガネのレンズは暗さを増している状態）
- テレビや外部ディスプレイとメガネが近すぎないこと
（適切な距離に関してはテレビや外部ディスプレイの取扱説明書を確認してください。）

上記の項目を行っても正常に表示されない場合は、その表示装置では「NVIDIA® 3DTV Play」が正しく動かない可能性があります。［終了して後で設定する］ボタンを押してセットアップを終了してください。

11 ［次へ］ボタンをクリックする

以降の手順については、「4 - 1 セットアップ」の手順 13 ～ 17 を確認してください。

「NVIDIA® 3DTV Play」は画面モードが［1920×1080 24Hz］もしくは［1280×720 60Hz］のときのみ有効になります。
引き続き、解像度の設定を行います。

1 デスクトップ上で右クリックし、表示されたメニューから［NVIDIA コントロールパネル］をクリックする

［NVIDIA コントロールパネル］画面が表示されます。

2 画面左側の［ディスプレイ］から［解像度の変更］をクリックする

3 HD3Dの［1080p，1920×1080］もしくは［720p，1280×720］を選択する

HD、SD側の解像度を選択しても、「NVIDIA® 3DTV Play」は動作しません。

4 ［適用］ボタンをクリックする

11 Q&A集

Q 3Dに見えない（2Dに見える）

A 3D Visionが有効かどうかを確認してください。

次の手順で確認してください。

①デスクトップ上で右クリックし、表示されたメニューから［NVIDIA コントロールパネル］をクリックする
［NVIDIA コントロールパネル］画面が表示されます。

②画面左側の［ステレオスコピック 3D］から［ステレオスコピック 3Dを設定します］をクリックする

③画面右側の［ステレオスコピック 3Dを有効にする］にチェックが付いていることを確認する

この設定は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［NVIDIA Corporation］→［3D Vision］→［3D Visionを有効にする］／［3D Visionを無効にする］と連動しています。

A IRエミッターと3Dグラス間の赤外線通信が正常に行われていることを確認してください。

次のことを確認してください。

- 3Dグラスの電源が入っていること
  3Dグラスの電源は、IRエミッターからの赤外線通信がしばらくないと、自動的に電源が切れます。
- 3Dグラスの赤外線受信部を手などでふさいでいないこと

また、「5 - 2 赤外線通信中の状態について」も参照してください。

A WinDVD BDで再生している場合は、次のことを確認してください。

あらかじめ、WinDVD BDの設定画面で、3D映像を見るための設定を行っていることを確認してください。

参照 「6 ブルーレイ3Dを見る」

A TOSHIBA VIDEO PLAYER 3Dで再生している場合は、次のことを確認してください。

TOSHIBA VIDEO PLAYER 3Dの3D設定画面で、3D方式が正しく設定されていることを確認してください。

参照 「8 DVDやビデオファイルを3Dで見る」

Q 3Dグラスのちらつきが気になる

A IRエミッターと3Dグラス間の赤外線通信と、室内照明器具の周波数が干渉している可能性があります。

特に光が強い照明器具（ハロゲンライトや蛍光灯など）の場合は、周波数により、ちらつきを感じやすい場合があります。
照明を少し暗くするか、別の照明器具を使うなどの対処を行ってください。
（お子様と一緒に視聴する場合などは、照明を暗くしすぎないようにしてください。）

A セットアップウィザードで、リフレッシュ レートを変更してください。

セットアップは再度行うことができます。3D映像を視聴する環境に合わせて、リフレッシュ レートを変更してください。

参照 「4 3D Visionのセットアップ」

12 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 機器の取り扱いについて

- 3Dグラスを落としたり、強い力を加えないでください。故障する原因となります。
- USBケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
- 放熱器、ストーブ、アンプなど、発熱する機器から離して使用してください。

2 3Dグラスのお手入れ・充電について

3Dグラスのお手入れや保管について

- 3Dグラスは、レンズやバッテリーなど、壊れやすい部品が使われています。落としたり、曲げたり、強い力を加えないでください。故障する原因となります。
- レンズ部分を鋭利なもので引っかかないでください。レンズに傷が付くと、3D映像の品質が低下する原因となります。
- お手入れの際は、市販のクリーナークロス（乾いた状態）をご使用ください。レンズに傷が付くと、3D映像の品質が低下する原因となります。
  また、メガネクリーナー、家庭用洗剤、ベンジンやシンナーなどの溶剤、アルコール、水道水、研磨剤などは使用しないでください。3Dグラスの塗装が剥げたり、故障する原因となります。
- 3Dグラスを使用しないときは、市販のメガネケースなどに入れて、高温・多湿の場所を避けて保管してください。高温・多湿な場所に保管すると、バッテリーやレンズが故障するおそれがあります。

3Dグラスの充電について

- 3Dグラスを、本書で説明している方法以外で充電しないでください。
- 3Dグラスにはリチウムイオンバッテリーが使われています。リチウムイオンバッテリーは消耗品です。長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
  バッテリーの消耗が早くなったときは、東芝PCあんしんサポートまたは保守サービスにご相談ください。

3 赤外線通信について

- 3DグラスとIRエミッター間の赤外線通信を妨げないように、次のことに気を付けてください。
  ・3DグラスとIRエミッターの間に、赤外線通信を妨げるような障害物を置かないこと
  ・3Dグラスの赤外線受信部を手などでふさがないこと
  ・3DグラスとIRエミッターは、約4.5m以上離さないこと
- 別の赤外線通信装置の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。

4 3D映像の視聴について

3D映像の視聴にあたって

- 3D映像の見えかたには個人差があります。
- 3D映像を視聴中に、体調不良などが引き起こされることがあります。その際は、ただちに視聴を中止し、医師に相談してください。
- お子様が視聴されるときは、視聴の可否や視聴時間の制限など、保護者にて十分ご配慮ください。
- 特にお子様が視聴されるときは、照明を消して真っ暗な室内で視聴しないでください。

3Dグラスの装着にあたって

- 3Dグラスをかけているとき、室内照明の種類によっては、室内がちらついて見えることがあります。特に、光が強い照明（ハロゲンライトや蛍光灯など）の場合、ちらつきを感じることがあります。このような場合は、照明を少し暗くするか、別の照明器具を使用するなどの対処を行ってください。
- 3Dグラスをかけた両目（を結ぶ線）が、ディスプレイと平行になるようにしてください。
  頭を傾けると、3D映像の奥行き感などの効果を得られにくくなる場合があります。
  また、寝転んだ姿勢で見ると、3D映像を見ることができません。
- 3Dグラスをかけているときに、映像を3D表示から2D表示に切り替えると、3D酔いする場合があります。

5 3D映像の再生について

3D映像の再生にあたって

- テレビや外部ディスプレイで3D映像を視聴する場合は、HDCP対応のHDMI入力端子のある、3D映像に対応したテレビや外部ディスプレイが必要です。
  テレビや外部ディスプレイやで3D映像を視聴するときは、テレビや外部ディスプレイに付属のメガネを使ってください。
- 3D映像は、フルスクリーンモード（全画面表示）のみで表示できます。

WinDVD BDでのブルーレイ3Dの再生について

- WinDVD BDでの3D映像の再生は、NVIDIA 3D Visionにのみ対応しています。
- 3D映像の再生には、ブルーレイ3Dディスクが必要です。通常のブルーレイディスクやDVDなどの2D映像を、3Dに変換して視聴することはできません。
- 3D映像を再生中に、フルスクリーンモード（全画面表示）からウィンドウモードに切り替えたり最小化すると、3D映像の再生が停止します。また3D映像の再生中は、右クリックして表示するメニュー、設定画面、ヘルプは表示できません。

6 DVDの再生にあたって

本項では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-Videoフォーマット またはDVD-VRフォーマットで記録されたディスクを示します。

- 使用するDVDのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- 家庭用DVDレコーダーで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。
- DVDの再生には、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」を起動し、DVDを再生してください。
- DVD再生ソフト「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」では、DVD-VideoとDVD-VRの再生ができます。AVCREC、AVCHDおよびHD Recフォーマットで書き込まれたDVD、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD再生時は、ACアダプターの接続をおすすめします。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリー駆動で再生するときは電源プランで「高パフォーマンス」を選択してください。
- DVDを再生する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。また、再生中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
- 「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」の起動中は、スリープ、休止状態を実行しないでください。
- 「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」の起動中は、コンピューターのロック状態に移行する操作（⊞＋L キーまたは FN＋F1 キーを押す）をしないでください。
- Region（リージョン）コードは４回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、アプリケーションを起動する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVDを再生することはできません。

  参照 表示装置の切替え《パソコンで見るマニュアル（検索）：表示を切り替える》
- 拡張表示（Extended Desktop）でDVDを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュ レートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のヘルプに記載しています。
「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のヘルプの起動は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA VIDEO PLAYER］→［TOSHIBA VIDEO PLAYER ヘルプ］をクリックしてください。

アップコンバート機能について

- アップコンバート機能を有効に設定している場合、再生できるタイトルや使用できる機能に制限があります。
- アップコンバート機能を有効にして再生する場合は、必ずACアダプターを接続してください。
- アップコンバート機能を有効にした映像をテレビや外部ディスプレイでご覧になるには、HDCP対応のHDMI入力端子のあるテレビや外部ディスプレイが必要です。
- アップコンバート機能は、本体液晶ディスプレイまたは、HDMI出力端子に接続したテレビにのみ表示できます。RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることができません。

3D再生機能について

- 3D再生機能を使用することができます。3D映像を見るための準備については、本書の説明を参照してください。
- 本製品の3D再生機能は、3D再生用として作られた映像を3D映像としてご視聴いただくことを目的とした機能ですが 、個人が私的に撮影した映像を3D映像に変換(2Dto3D変換)して楽しんでいただいたり、2D映像(DVDやビデオファイル)などのコンテンツをお客様の選択により3D映像としてご家庭内で視聴していただくことを可能とする機能も備えております。
- 本製品の3D再生機能は、お客様のご家庭内での個人的かつ非商業的な使用を目的としたものであり、第三者のコンテンツを、営利目的で、または料金を徴収して、不特定または多数の者の視聴に供しますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する場合がありますので、注意してください。
- お客様自らが撮影した映像以外のコンテンツを2Dto3D変換して視聴される場合は、著作者その他の権利者に十分配慮し、ご家庭内での個人的かつ非商業的な使用の範囲を超えて、不特定または多数の者の視聴に供されることがないように注意してください。
- 2Dto3D変換機能によって生成された映像は、当社独自の技術によって機械的に変換されるものであって、2D映像のコンテンツの提供者によって変換されたものではありません。
- 2Dto3D変換機能によって生成された映像は、3D再生用として作られた映像と同じではありませんが、当社独自のアルゴリズムで2D映像を3D変換した擬似3D映像を楽しめます。
- 3D再生機能を有効にしているときは、一部の機能を使用することができません。このとき、使用できない機能のボタンは無効状態です。
- 3D再生機能を有効にして再生中に「右クリックメニュー」「設定画面表示」「メニュー／タイトル一覧表示」「ファイル選択」「タイトル／チャプタ検索」「エラーメッセージ」などのウィンドウを表示する操作やWindowsや他のアプリケーションの操作を行った場合、3D再生機能が無効となり2Dで映像を再生します。また画面の表示（切り替わり）に時間がかかる場合があります。
- 3D再生機能を有効にして再生する場合は、必ずACアダプターを接続してください。
- 3D再生機能は、フルスクリーンで映像を表示します。ウィンドウ表示で再生することはできません。
- 3D再生機能を有効にした映像をテレビや外部ディスプレイでご覧になるには、3D再生に対応し、かつHDCP対応のHDMI入力端子のあるテレビや外部ディスプレイが必要です。
- 3D映像は、本体と外部表示装置をHDMI 1.4で接続した場合にのみ外部表示装置に表示できます。

- 詳細設定画面の3D設定において立体感調整が可能ですが、デフォルト値のままで3D映像を見ることをお勧めします。設定を変更すると立体感が強くなり、目が疲れやすくなる可能性があります。
- 3D映像の見え方には個人差があります。
- 体調不良などが引き起こされることがあります。その際は、ただちに視聴を中止し、医師に相談してください。
- お子様が視聴されるときは、視聴の可否や視聴時間の制限など、保護者にて十分配慮してください。
- 3Dグラスを使用中、室内照明の種類によっては室内がちらついて見えることがあります。
- 3D再生機能については、「TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D」のヘルプを参照してください。
- テレビや外部ディスプレイで3D映像を再生するとき、「NVIDIA® 3DTV Play」のリフレッシュ レートが「1920×1080 24Hz」に設定されていると、動きの多い映像がなめらかに表示されない場合があります。その場合は、「1280×720 60Hz」に設定してください。

7 3Dグラスの廃棄について

- 3Dグラスを廃棄する場合は、地方自治体の条例に従い、適切に処理してください。

PRINTED WITH SOY INK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。
ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

▼インターネットで修理のお申し込み
http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
　東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&ネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000TT210
Printed in China